

千葉県社保協通信

2018年度 No.2 2018年 6月27日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉セカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

税金は安心できる くらしのために使ってほしい 聞いてよ!! 私の願い 思いを 467人が 市長に請願

柏市社保協・6.25 請願行動柏市実行委員会

国の社会保障制度の改悪がすすめられる中、柏市では200億円の税金が、柏駅西口開発に注ぎこまれようとしています。しかも市長は「市民の賛否を問うつもりはない」という姿勢です。「税金は安心できるくらしのために使ってほしい」と、柏市社保協の呼びかけで、6月25日、医療や介護、国保、年金、育児・保育、障害者福祉などの「切実な願いを市長に届けよう」と個人請願行動が行われました。



駅頭で市民に訴える新山晴美柏市社保協会会長 ↑

「黙っていたらダメ」「怒りは声に出そう」と始まった行動です。まず、梅雨明けを思わせる炎天下の柏駅東口ダブルデッキで14時から宣伝行動です。リレートークでは次々に「社会保障改悪の実相」が語られます。年金者組合の代表は「年金が毎年引き下げられ、消費税は上げられる。暮らしが大変」と。新婦人からは「消費税が10%になったら生活できない。北欧は消費税が高いというが食料品には消費税がかからない」と話します。生活と健康を守る会は「生活保護費が削られる。これは保護受給者だけの問題でない。国民全体が貧困に陥る」と訴えました。つづいて東葛健康友の会。「手遅れ死亡事例」と深刻な子どもの口腔破壊に

ついて語りました。

駅前デッキのテントに立ち寄って、ひとり1枚の請願署名用紙に記入していく人がいます。中には便せん3枚にもなる思いがつつられている署名も。467枚の署名が集まりました。

そして、柏市役所に場所を移しての請願書提出。市長にかわって副市長が署名を受け取りました。

この日の行動参加者は延べ150名。

新山晴美会長は、「『皆さんの声を受けとめる』との副市長からの言葉もあり、昨年を上回る個人請願の行動となった」と話しました。



●市民が安心して暮らせるための社会保障実現を求める請願事項●

1. 市民の税金は柏駅西口大型開発より、社会福祉、社会保障の向上に回すよう図ってください。
2. 高すぎる国保料・介護保険料の引き下げを図ってください。
3. 後期高齢者医療制度の保険料を引き上げを行わないでください。
4. 介護保険からの締め出しをやめて、安心して介護を受けられるようにしてください。
5. 支給開始年齢の引き上げなど年金改悪をやめるよう国に働きかけてください。
6. 安心して子育てができるように保育園と保育士を増やしてください。
7. 65歳で障害者サービスを介護サービスへ移行する際にサービス低下にならないようにしてください。
8. 市内にコミニティバスを走らせてください。市役所と柏駅間に走らせてください。